

## 編集後記

2011年3月11日午後2時46分ごろ、三陸沖を震源とする大規模地震が発生した。本号の特集は、この東日本大震災とよばれる災害の直後から現地に入り込み、調査を続けてきた竹沢尚一郎教授が実行委員長となった企画展「津波を越えて生きる——大槌町の奮闘の記録」と連動している。

同日同刻、小生は、婚姻届の保証人欄の印鑑を東京の町田市で頂き、京王線で帰宅する途上であった。地震を感知し電車は急停車し、それ以外の交通機関も麻痺した。結局親に自家用車でひどい渋滞のなか迎えに来てもらった。自宅に着き、ほっと一息ついたのは、深夜12時過ぎ。それから自宅のテレビで甚大な被害状況を知った。

こうしたたわいのないものからことばにできないような深い悲しみまで、災害という出来事の喚起する記憶は、さまざまであろう。被災者の声や復興に向けた動きが展示されている企画展と本特集を通じて6年を経た現在の時点から東日本大震災を見返すことで、なにがしか考える材料が提供できればと思う。特集では併せてそれ以外の災害のその後の動きにも若干触れている。なお最後となるが、竹沢教授は、この3月に定年退職される。この展示は本館での最後の仕事のひとつとなる。今後の精力的な研究活動も楽しみにしたい。  
 (丹羽典生)

●表紙：東日本大震災被災前の岩手県大槌町吉里吉里の模型。  
 企画展「津波を越えて生きる」にて展示。制作・竹沢尚一郎

### 次号の予告

特集

**ビーズ——つなぐ・かざる・みせる**

## 月刊みんなぱく 2017年2月号

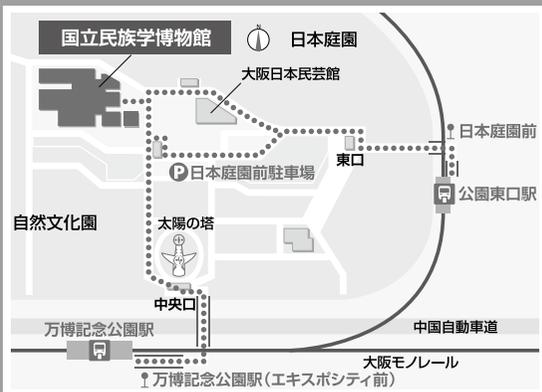
第41巻第2号通巻第473号 2017年2月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 **国立民族学博物館**  
 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
 電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信  
 編集委員 丹羽典生(編集長) 河合洋尚 菅瀬晶子  
 南真木人 山中由里子 吉岡乾

デザイン 宮谷一 長岡綾子  
 制作・協力 一般財団法人千里文化財団  
 印刷 能登印刷株式会社

\*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に  
 お願いします。  
 \*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



### 交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「万博記念公園駅(エキスポシティ前)」 「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてできます。

みんなぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんなぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんなぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>

